



E型肝炎について

E型肝炎ウイルス (HEV) による感染症で、衛生状態の悪い地域で多くみられます。先進国でも時々発生します。感染経路は経口感染であり、ウイルスに汚染された水や氷、野菜や果物、肉類を生で食べることで感染することが多いとされています。

-主な症状- ウイルスに感染した後、2~10週間(平均6週間)の症状のない期間があった後、急な発熱、全身のだるさ、食欲不振、吐き気・嘔吐が見られ、数日後に黄疸(皮膚や目の白い部分が黄色くなること)がみられます。これらの症状は通常は1~6週間で自然に改善しますが、重症の場合、回復するまでに数週間から数か月かかることもあります。妊婦ではE型肝炎が重症になることが通常より多く、死亡する可能性があり、自然流産や早産のリスクがあります。

治療・予防方法は？

特別な治療はありません。症状に応じて治療し、安静にします。
A型肝炎やB型肝炎とは異なり、予防接種で予防することはできません。

食べもの・水に注意しましょう

十分に加熱調理(70℃以上で5分間)してあるものを食べましょう。
特に、ブタ、イノシシ、シカを生で食べることは危険です。途上国では、ミネラルウォーターや、煮沸させた水を飲みましょう。カットフルーツなども洗った水が汚染されていることがあるため、自分で皮をむいて食べるほうが安全です。皮の傷んだものは食べないようにしましょう。

手洗いをしましょう

食事の前には十分に手を洗い、E型肝炎患者の糞便からの経口感染を予防しましょう。

注意!



| 定点種別 | 疾患名 | 状況 | 4週(1/19~1/25) | | 5週(1/26~2/1) | |
|-------------------|------------------------|----|---------------|-------|--------------|-------|
| | | | 報告数 | 定点当り | 報告数 | 定点当り |
| 急性呼吸器感染症 (ARI) | インフルエンザ | ○ | 398 | 16.58 | 754 | 31.42 |
| | 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) | | 18 | 0.75 | 22 | 0.92 |
| | 急性呼吸器感染症(ARI) | | 1724 | 71.83 | 2239 | 93.29 |
| 小児科 | RSウイルス感染症 | | 26 | 1.73 | 14 | 0.93 |
| | 咽頭結膜熱(プール熱) | - | 3 | 0.20 | 2 | 0.13 |
| | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | - | 45 | 3.00 | 53 | 3.53 |
| | 感染性胃腸炎 | - | 73 | 4.87 | 79 | 5.27 |
| | 水痘(みずぼうそう) | - | 7 | 0.47 | 4 | 0.27 |
| | 手足口病 | - | 13 | 0.87 | 6 | 0.40 |
| | 伝染性紅斑(りんご病) | - | 20 | 1.33 | 15 | 1.00 |
| | 突発性発しん | | 13 | 0.87 | 7 | 0.47 |
| | ヘルパンギーナ | - | 1 | 0.07 | 1 | 0.07 |
| | 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) | - | 2 | 0.13 | 1 | 0.07 |
| 眼科 | 急性出血性結膜炎 | - | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| | 流行性角結膜炎(はやり目) | - | 8 | 1.60 | 2 | 0.40 |
| 基幹 | 細菌性髄膜炎 | | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| | 無菌性髄膜炎 | | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| | マイコプラズマ肺炎 | | 4 | 0.80 | 0 | 0.00 |
| | クラミジア肺炎(オウム病を除く) | | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| | 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。
○:警報レベル △:注意報レベル -:警報・注意報レベルなし